

# 令和 8 年度 学習の手引き

教科名	公民	年次	3学年	使用 教材	高等学校 政治・経済(清水書院)
科目名	政治・経済	必修			高等学校 政治・経済 ワークノート(清水書院)
		単位	2		

## 科目の目標

- 1 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 2 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念、理論を活用し、現実社会の課題について説明するとともに、各々が構想したことについて議論し、公正に判断することで、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- 3 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

## 学習方法

- 1 「公共」で学んだ知識・技能を生かしながら、基礎から応用へと思考力・判断力を育成する授業を行います。
- 2 日常から学習に前向きに取り組み、問題演習や家庭学習にも取り組みましょう。
- 3 ノートを用意する必要はありません。授業ではワークシートを用い、ファイリングをしてもらいます。
- 4 授業で分からないところがあれば、早めに教科担任に質問し、解決しましょう。

## 評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
②	思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念、理論を活用し、現実社会の課題について説明するとともに、各々が構想したことについて議論し、公正に判断できる。
③	主体的に学習に取り組む態度	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。

## 評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	
A C C	3	2
B C C	2	
C C C	1	1

## 評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
定期考査	◎	○		年4回の定期考査を実施します
ワークシートの記述内容		◎	○	ワークシートの記述内容により評価を行います
レポート提出		◎	◎	
グループワーク・ペアワーク		○	◎	

◎特に重視する点

# 内容のまとめりごとの評価規準

# 科目名:政治・経済

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめり				
1	現代日本の政治・経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治と法、基本的人権と法の支配、権利と義務、議会制民主主義、地方自治についての理解を深めている。</li> <li>経済活動、経済主体と経済循環、国民経済と経済成長、物価と景気変動、財政・租税、金融についての理解を深めている。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法と現代政治の在り方との関連や望ましい政治の在り方、政治参加の在り方について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>経済活動と福祉との関連、市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。
2	現代日本における政治・経済の諸課題	少子高齢社会における社会保障、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方、産業構造の変化と起業、財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現等の諸課題についての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。	少子高齢社会における社会保障、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方、産業構造の変化と起業、財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現等について、課題の解決に向けて政治と経済とを関連させ多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての考えを説明、論述している。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。
3	現代の国際政治・経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際法の意義や国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、理解を深めている。</li> <li>貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性、国際経済機関の役割について、理解を深めている。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際法の果たす役割や国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。
4	グローバル化する国際社会の諸課題	グローバル化に伴う生活や社会の変容、資源・エネルギー問題、経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長、人種・民族問題や紛争解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりについての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。	グローバル化に伴う生活や社会の変容、資源・エネルギー問題、経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長、人種・民族問題や紛争解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりについて、課題解決に向け、政治と経済とを関連させ、多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方について自分の考えを説明、論述している。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。
5				
6				
7				
8				



## 単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	3学年 必修	
科目名	政治・経済	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		ワークノート	
単元名	現代政治のしくみと日本		配布資料	
内容のまとめ	(現代日本の政治・経済)		Chromebook	
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治と法、基本的人権と法の支配、権利と義務、議会制民主主義、地方自治について理解する。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。</li> </ul>	日本国憲法と現代政治の在り方との関連や望ましい政治の在り方、政治参加の在り方について多面的・多角的に考察し、表現する。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治とは何か、法とは何かについて学習する。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代民主政治と基本原理、世界の政治体制、日本国憲法の基本原理や基本的人権について学習する。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和主義、政治機構、政党政治と選挙制度、地方自治について学習する。</li> </ul>			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治と法、基本的人権と法の支配、権利と義務、議会制民主主義、地方自治についての理解を深めている。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	日本国憲法と現代政治の在り方との関連や望ましい政治の在り方、政治参加の在り方について多面的・多角的に考察し、表現している。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	プリントの記述内容		○	○
	レポート提出		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
配当時間	18時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	3学年 必修	
科目名	政治・経済	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		ワークノート	
単元名	現代経済のしくみと日本		配布資料	
内容のまとめ	(現代日本の政治・経済)		Chromebook	
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・経済活動、経済主体と経済循環、国民経済と経済成長、物価と景気変動、財政・租税、金融についての理解を深める。 ・諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。	経済活動と福祉との関連、市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、表現する。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。	
単元の学習内容	・経済活動と経済主体、市場経済の機能と限界について学習する。			
	・景気・物価変動、金融・財政のしくみ、日本経済のあゆみについて学習する。			
	・企業の活動と役割、労働問題について学習する。			
	・社会保障制度、農業と食料問題について学習する。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・経済活動、経済主体と経済循環、国民経済と経済成長、物価と景気変動、財政・租税、金融についての理解を深めている。 ・諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。	経済活動と福祉との関連、市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、表現している。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	プリントの記述内容		○	○
	レポート提出		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
配当時間	21時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	3学年 必修	
科目名	政治・経済	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		ワークノート	
単元名	現代日本の諸課題		配布資料	
内容のまとめ	(現代日本における 政治・経済の諸課題)		Chromebook	
				・発見力 ・学ぶ力 ・探究力  ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力  ・コミュニケーション力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	少子高齢社会における社会保障、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方、産業構造の変化と起業、財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現等の諸課題についての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。	少子高齢社会における社会保障、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方、産業構造の変化と起業、財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現等について、課題の解決に向けて政治と経済とを関連させ多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての考えを説明、論述する。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。	
単元の学習内容	以下の諸課題について考察・表現する学習活動を行う。			
	①地域社会の自立と中央政府の役割 ②持続可能な社会保障制度			
	③多様な働き方ができる社会 ④安全・安心な社会			
	⑤歳入・歳出両面での財政健全化			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	少子高齢社会における社会保障、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方、産業構造の変化と起業、財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現等の諸課題についての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。	少子高齢社会における社会保障、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方、産業構造の変化と起業、財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現等について、課題の解決に向けて政治と経済とを関連させ多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての考えを説明、論述している。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	プリントの記述内容		○	○
	レポート提出		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
配当時間	8時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	3学年 必修	
科目名	政治・経済	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		ワークノート	
単元名	現代の国際社会と政治		配布資料	
内容のまとめ	(現代の国際政治・経済)		Chromebook	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際法の意義や国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、理解を深める。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。</li> </ul>	国際法の果たす役割や国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発見力</li> <li>学ぶ力</li> <li>探究力</li> <li>グローバル力</li> <li>思考力</li> <li>判断力</li> <li>表現力</li> <li>寛容力</li> <li>コミュニケーション力</li> </ul>
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会の成立と国際法について学習する。</li> <li>国際連合と国際協力について学習する。</li> <li>国際社会の変遷と動向について学習する。</li> <li>国際紛争と軍備管理について学習する。</li> </ul>			
単元の評価規準	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>国際法の意義や国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、理解を深めている。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	思考・判断・表現 国際法の果たす役割や国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	プリントの記述内容		○	○
	レポート提出		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
配当時間	8時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	3学年 必修	
科目名	政治・経済	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		ワークノート	
単元名	現代の国際社会と経済		配布資料	
内容のまとめ	(現代の国際政治・経済)		Chromebook	
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性、国際経済機関の役割について、理解を深める。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。</li> </ul>	国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。	
単元の学習内容	・国際経済のしくみについて学習する。			
	・国際収支と為替について学習する。			
	・国際協調と国際経済機関の役割について学習する。			
	・グローバル化と国際経済について学習する。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性、国際経済機関の役割について、理解を深めている。</li> <li>諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	プリントの記述内容		○	○
	レポート提出		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
配当時間	8時間			
補足等				

## 単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	3学年 必修	
科目名	政治・経済	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		ワークノート	
単元名	国際社会の諸課題		配布資料	
内容のまとめ	(グローバル化する国際社会の諸課題)		Chromebook	
				・発見力 ・学ぶ力 ・探究力  ・グローバルカルカ ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力  ・コミュニケーション力
単元の目標	<b>知識・技能</b> グローバル化に伴う生活や社会の変容、資源・エネルギー問題、経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長、人種・民族問題や紛争解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりについての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。	<b>思考・判断・表現</b> グローバル化に伴う生活や社会の変容、資源・エネルギー問題、経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長、人種・民族問題や紛争解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりについての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。	
単元の学習内容	以下の諸課題について考察・表現する学習活動を行う。  ①グローバル化する世界のリスク ②難民問題  ③国際経済の是正 ④技術革新が変えた世界  ⑤資源・エネルギー開発			
単元の評価規準	<b>知識・技能</b> グローバル化に伴う生活や社会の変容、資源・エネルギー問題、経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長、人種・民族問題や紛争解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりについての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。	<b>思考・判断・表現</b> グローバル化に伴う生活や社会の変容、資源・エネルギー問題、経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長、人種・民族問題や紛争解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりについての理解を深め、諸資料から必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、また多面的・多角的な考察や理解を通して、自国を愛し平和と繁栄を図り、我が国と国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	プリントの記述内容		○	○
	レポート提出		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
配当時間	7時間			
補足等				